

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度 自動運転路車協調システム調査検証業務
業 務 概 要	本業務は、自動運転車と一般車が混在する交通環境において安全・円滑な道路交通を実現するため、九州管内における自動運転事業と連携し、レベル4自動運転移動サービスの実現に向けた交差点周辺等における道路インフラからの支援として路車協調システムに関する実証実験を実施し、これら路側センサに求められる機能や仕様等について検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 6年 7月25日
契 約 業 者 名	日本工営（株）
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12
契 約 金 額	44,935,000円（税込み）
予 定 価 格	44,935,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 7月26日
履 行 期 間 (至)	令和 7年 3月14日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度 自動運転路車協調システム調査検証業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 九州地方整備局管内
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12 R&F センタービル 5F
会社名：日本工営株式会社 福岡支店
電 話：092-475-7131
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、自動運転車と一般車が混在する交通環境において安全・円滑な道路交通を実現するため、九州管内における自動運転事業と連携し、レベル4自動運転移動サービスの実現に向けた交差点周辺等における道路インフラからの支援として路車協調システム（以降、「路側センサ」という。）に関する実証実験を実施し、これら路側センサに求められる機能や仕様等について検討を行うものである。

2) 業務の内容

- (1) 計画準備
- (2) 現地踏査
- (3) 路側センサに関する実証実験
- (4) 検討結果のとりまとめ整理等
- (5) 報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を23者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「路車協調システム実証実験を行う上での留意点について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に評価テーマの「路車協調システム実証実験を行う上での留意点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示され、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)
道路部 道路計画第二課長